

## 東京都との連携に向けた取組み

東京都が設置した公立大学としての強みを生かし、東京都の行政施策をリードするような提案を積極的に行っています。様々な行政ニーズに応えるために、施策プロジェクトの内容に応じて、学部・研究科の枠を超えてプロジェクトを支援・推進し、分野横断型研究チームの英知を集結し

て都市型の問題解決に取り組んでいます。また、都関連組織（都立産業技術研究センター、都立医学総合研究所等）との連携を強化しています。

### 連携に向けた活動

#### ■ 都事業説明会

東京都立大学で開催します。  
東京都各局の担当者に、本学研究者へ施策と課題の紹介を行っていただきます。

#### ■ 施策提案発表会

東京都庁で開催します。  
都事業説明会の内容を受け、本学研究者がそれぞれの研究を生かした施策提案を行います。



#### ■ スタートアップ調査

都政のよきアドバイザーとして、東京都各局からのご相談・ご要望にタイムリーにお答えするための仕組みです。  
将来東京都との連携プロジェクトにつながる可能性のある研究課題に対して本学が予備研究費を配分します。



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

### 総合研究推進機構

<https://tmu-rao.jp/>

#### 所在地

〒192-0397  
東京都八王子市南大沢1-1

#### 最寄駅

京王相模原線 南大沢駅

#### 連絡先

TEL : 042-677-1111 (代表)  
TEL : 042-677-2728 (研究推進課)  
FAX : 042-677-5640 (研究推進課)

お気軽にご相談ください。

✉ お問い合わせはこちら  
[ragroup@jmj.tmu.ac.jp](mailto:ragroup@jmj.tmu.ac.jp)



2020年7月発行



## 東京都立大学 総合研究推進機構

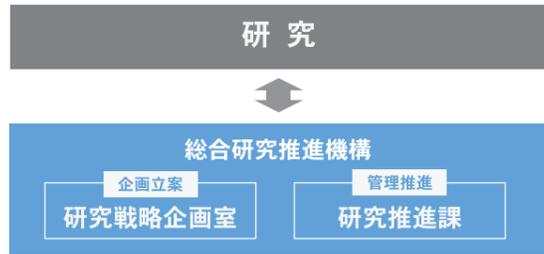


TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

研究力の強化とプレゼンスの向上を実現するための、戦略立案から研究推進を担う

# 総合研究推進機構



## 総合研究推進機構とは

研究戦略の立案を行う研究戦略企画室と、基礎研究から産学連携・技術移転まで一貫通貫で研究推進を行う研究推進課から構成される『総合研究推進機構』が、学内の研究活動の更なる活性化と国内外での研究大学としてのプレゼンス向上を目的として2014年4月1日に設置されました。

## 研究戦略企画室とは

東京都立大学における学内資源を有効に活用し、研究プレゼンスを高め、「世界の頂点」となり得る研究分野の構築を目指すために、学術研究戦略・都連携研究戦略・産学連携研究戦略の企画立案と、研究推進支援に関する業務を行っています。機構長によるトップダウンでの研究戦略立案が行われ、学内外の様々な環境変化

に迅速に対応することを目指します。

2017年4月から、吉川 徹 副学長が総合研究推進機構長兼研究戦略企画室長として、各担当教員と連携しながら研究戦略立案の陣頭指揮を執っています。



総合研究推進機構長 副学長(研究都連携) 吉川 徹 教授

### 担当教員

人文社会学部 人文学科  
中嶋 毅 教授

理学部 物理学科  
森 弘之 教授

システムデザイン学部 機械システム工学科  
楊 明 教授

健康福祉学部 作業療法学科  
橋本 美芽 准教授

### 機構長ご挨拶

総合研究推進機構は、大学の理念「大都市における人間社会の理想像を追求」を踏まえつつ、多様な分野で研究者の自由な発想に基づく基礎から応用まで幅広い研究を推進することを使命としています。さらに、東京都との連携を通し、都のシンクタンクとしての役割を果たすとともに、企業、行政機関、NPO等と協働し、大学の知的成果を広く社会に還元することも目指しています。今後も大学の特色と強みを生かした独自の研究推進活動によって、更なる研究力の強化、東京都を始めとする社会との連携の深化、国内外における存在感の向上に努めてまいりますので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

## URAとは

URAは、University Research Administratorの略称であり、大学や研究機関の研究活動を推進する専門人材です。研究開発内容について一定の理解を有しつつ、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等をマネジメントする人材と文部科学省では定義しています。東京都立大学では、2014年4月に研究力強化のために新設された総合研究

推進機構において、大学の研究戦略立案・研究活動を推進する機能を担う部門として、研究推進課が設置されました。URAは、研究IR、研究資金の獲得、企業や外部機関との連携の提案、契約交渉、研究プロジェクトのマネジメント、研究成果の広報、社会貢献(実用化・事業化)にいたるまで、大学の研究活動をトータルに推進しています。



## URAの役割

研究戦略推進業務	プレアワード業務	ポストアワード業務	関連専門業務
政策情報等の調査分析	研究プロジェクト企画立案支援	研究プロジェクト実施のための対外折衝	教育プロジェクト支援業務
研究力の調査分析	外部資金情報収集	プロジェクトの進捗管理	国際連携支援業務
研究戦略策定	研究プロジェクト企画のための内部折衝活動・対外折衝・調整	プロジェクトの予算管理	産学連携支援業務
	申請書作成支援	プロジェクト評価関連業務	知財関連業務
		報告書作成支援	研究機関としての発信力強化推進
			研究広報関連業務
			イベント開催関連業務
			安全管理関連業務
			倫理・コンプライアンス関連業務

## URAの取り組み

### 研究IR・情報提供(外部資金の情報・研究分析の情報)

本学の研究の特色や強みを調査・分析し、研究者に能動的に働きかけることで研究戦略の推進に貢献します。また、競争的資金情報や各省庁の審議会などの研究政策情報を収集・集約して、Web サイト等を通じて研究者に提供します。

### 企業等とのマッチング

企業や官公庁、団体などの外部機関と、研究に関する契約締結をサポートします。期間や内容、金額、研究成果の取扱いなど様々な視点で折衝・調整を行い、研究者が外部機関との研究をスムーズに進められるための窓口を務めます。

### 研究広報支援

マスメディアから注目されるプレスリリースの原稿作成支援を行います。国際的に広く情報発信を可能にするニュースサイト EurekaAlert! への積極的な投稿をサポートします。

### 研究チーム・プロジェクトの形成支援

研究者のニーズに応じて、学内・学外を問わず、研究者間の連携と交流を通じて、新しい研究チームや研究プロジェクト形成の支援を行います。研究者に負担が集中するプロジェクト立ち上げ時期を中心に、事務組織と連携してプロジェクト運営体制の構築を推進します。

### 知的財産管理・活用、実用化・事業化に向けた支援

知財専門スタッフと協力しながら、知的財産の創出から活用まで知的創造サイクルの好循環を目指して本学から産業界への橋渡しを行います。研究成果を社会に還元するため、企業への技術移転や研究者自らによる起業への支援など、様々なケースにあわせて実用化・事業化を推進します。

### 研究機器共用センター

機器の共用化に必要なシステムやデータベースなど運用体制の構築を進めています。

## 産学連携のメニュー

共同研究	受託研究	学術相談	特定研究寄附金
本学のシーズを活用し、本学研究者が企業等の研究者と共通の課題について共同で行う研究です。	本学のシーズを活用し、本学研究者が企業等から委託を受けて行う研究です。	本学研究者が、教育・研究及び技術上の専門的知識に基づき、企業等からの各種相談に対して、有償で助言・指導を行い、企業等の業務の活動を支援するものです。	企業、法人及び教育研究機関等から本学における研究活動の奨励を主たる目的として、所属又は研究者・研究内容を指定した上で受け入れます。



## 共同研究・受託研究・学術相談・特定研究寄附金の比較

	共同研究	受託研究	学術相談	特定研究寄附金
研究内容	企業等の研究員と本学教員が共同で研究を行います。	外部機関等からの委託を受けて行う研究です。	企業等からの依頼に基づき本学教員が指導補助を行います。	大学における研究の奨励を主たる目的として、企業等や個人などから受け入れる寄附金です。
契約書の締結	あり	あり	あり	なし
契約の期間	複数年契約可	複数年契約可	—	—
研究の分担	あり	なし	なし	なし
研究員の派遣	あり・なし	なし	なし	なし
成果物(研究報告書)	大学・企業等双方が協力して作成	大学が作成し委託先へ提出	—	—
特許等の帰属	単独・共有	原則大学	協議	—
管理費	10%	10%	10%	15%

## 技術移転(※営利企業に対しては原則有償です)

研究成果物提供	技術情報開示	ライセンス供与
本学の研究成果を研究サンプル等としてお試しいただけるかたちで提供します。	本学の未公開の特許明細書等を開示します。	技術的課題の解決や新たな製品開発のために、本学の知的財産をご利用いただけます。